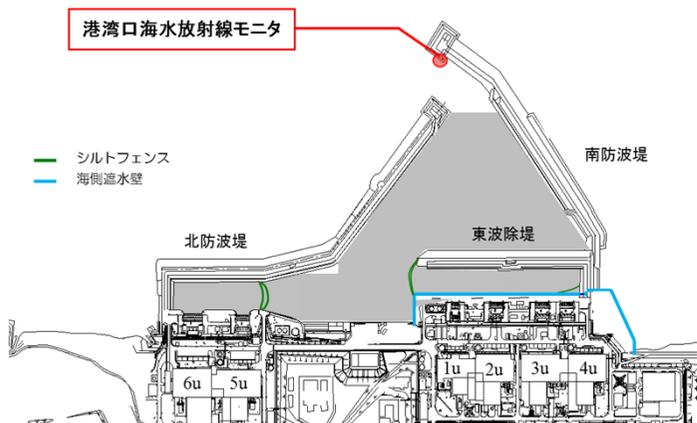
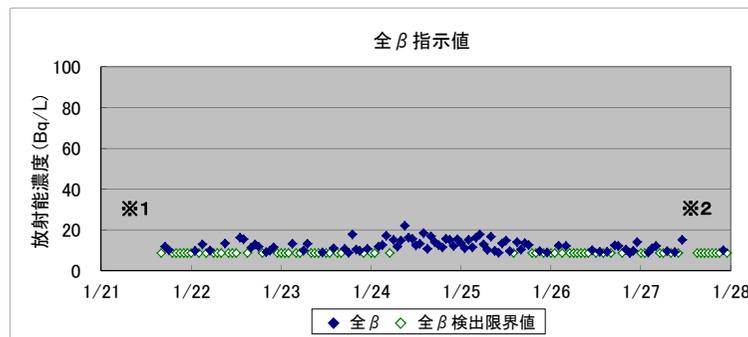
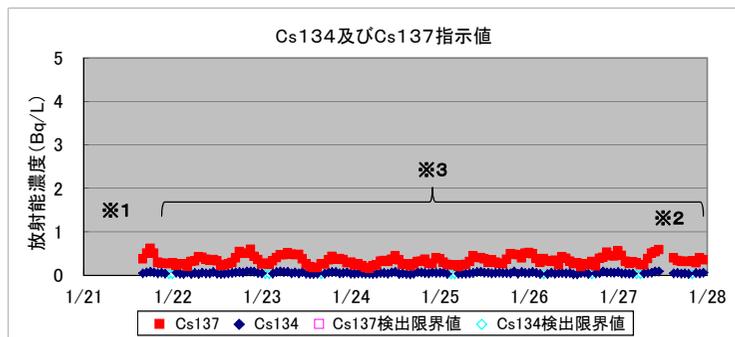


港湾口海水放射線モニタ指示値 (2016年1月21日 ~ 2016年1月27日 分)



(単位: Bq/L)

日時	全β	Cs134	Cs137
2016/1/27 0:00	ND	0.07	0.56
2016/1/27 1:00	ND	0.05	0.46
2016/1/27 2:00	9.0	0.04	0.32
2016/1/27 3:00	11.0	0.03	0.27
2016/1/27 4:00	12.1	0.04	0.30
2016/1/27 5:00	ND	ND	0.28
2016/1/27 6:00	ND	ND	0.24
2016/1/27 7:00	9.6	0.04	0.24
2016/1/27 8:00	ND	0.05	0.38
2016/1/27 9:00	9.2	0.06	0.50
2016/1/27 10:00	ND	0.09	0.53
2016/1/27 11:00	15.2	※3	※3
2016/1/27 12:00	-	-	-
2016/1/27 13:00	※2	-	-
2016/1/27 14:00	-	-	-
2016/1/27 15:00	ND	0.04	0.39
2016/1/27 16:00	ND	0.05	0.33
2016/1/27 17:00	ND	0.04	0.32
2016/1/27 18:00	ND	0.04	0.31
2016/1/27 19:00	ND	0.03	0.31
2016/1/27 20:00	ND	ND	0.33
2016/1/27 21:00	ND	0.05	0.29
2016/1/27 22:00	10.1	0.05	0.40
2016/1/27 23:00	ND	0.06	0.35
平均値	10.9	0.05	0.37

NDは検出限界値未満を表す。

<備考>

(検出限界値 Bq/L)
 ・セシウム(Cs)134 : 0.02
 ・セシウム(Cs)137 : 0.05
 ・全β : 8.7

(注) 海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻上がった海底砂の影響等により、データが変動する場合があります。
 また、β線モニタについては、ストロンチウム90のモニタリングを目的としていますが、現状ストロンチウム90のみを連続測定する事は難しい為、海水中に存在するβ線を放出する全ての核種を測定しております。
 ストロンチウム90は、これまでの分析結果で1Bq/L以下の低いレベルとなっておりますので、全β放射能の値は、通常天然核種であるカリウム40(十数Bq/L)の影響を受けております。

※1: 1月18日19:00~1月21日15:00については、取水ポンプの停止(ストレーナ差圧高)により欠測しております。

※2: 1月27日12:00~14:00については、点検保守作業により欠測しております。

※3: 1月21日より、セシウムの測定値に検出限界値未満が見られた事から、機器の点検および補修作業を実施しました。これに伴い、1月21日20:00~1月27日の測定値は再評価後の値を掲載しています。

(参考)

東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度は以下の通り
 ・セシウム(Cs)134:60 Bq/L
 ・セシウム(Cs)137:90 Bq/L

手汲み分析結果(12月21日10:00採取分)

・ストロンチウム(Sr)90:0.01 Bq/L未満
 ・ストロンチウム(Sr)89:0.02 Bq/L未満

手汲み分析結果(1月25日12:00採取分)

・セシウム(Cs)137:0.20 Bq/L セシウム(Cs)134:0.07 Bq/L未満